

1. 地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な方針

(1) 愛知県の経済の概観

ア 本県の県内総生産と産業構造の特徴

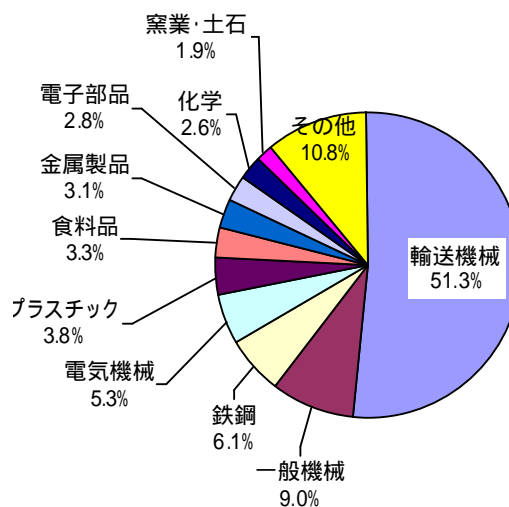
県内総生産額(名目)は、約36.5兆円(平成18年度)と、全国の7.1%を占めており、東京、大阪に次いで全国第三位となっている。

産業別に見ると、サービス業を始めとする第三次産業の割合が過半数を占めているものの、製造業を始めとする第二次産業の割合が4割を占めている。とりわけ、製造業が3割強であり、産業別の構成比で見ると、全国に比べ1割以上高く、本県の産業構造の特徴となっている。

製造業の中では、輸送用機械が突出しており、繊維、窯業・土石製品も全国の比率を上回っている。とりわけ、自動車産業(「自動車」、「自動車車体・附随車」、「自動車部分品・附属品」)は、平成19年の全国の製造品出荷額等約57.2兆円のうち23.4兆円と4割強のシェアを占め、全国一の集積を誇っている。

本県は、製造品出荷額等が31年連続日本一であるモノづくり県としての地位を築いている一方、農業産出額(H19)が全国第5位に位置する全国有数の農業県でもある。中でも花きは昭和37年以来、46年連続全国第1位である。

このように本県は、モノづくり県であるとともに、農業県でもあり、さらには大都市・名古屋という商業都市もあり、バランスのとれた産業構造となっている。



資料 県統計課「平成19年あいちの工業」

イ 事業規模等について

県内の事業所数(327,793所)[H18]のうち、中小企業は全体の98.9%(324,056所)を占めており、製造業においては、中小企業が全体(製造業)の99.2%を占めている。

ウ 地場産業の状況について

平成19年の本県地場産業11業種（食料品、繊維工業、衣服身回品、木材・同製品、家具装備品、紙・同製品、プラスチック製品、皮革・同製品、窯業土石製品、鉄鋼業、その他）の合計は、製造品出荷額等約9.3兆円(19.6%)、事業所数約9,329事業所(同42.8%)、従業者数約26万人(同29.4%)であり、減少傾向ながら地域経済に及ぼす影響は大きい。

また、地場産業11業種のうち、繊維工業、木材同製品、プラスチック製品、窯業土石製品、鉄鋼業の5業種については、製造品出荷額等が全国1位となっており、これら業種の集積の高さと全国規模での強い存在感は、この地域の産業資源としての「強み」といえる。

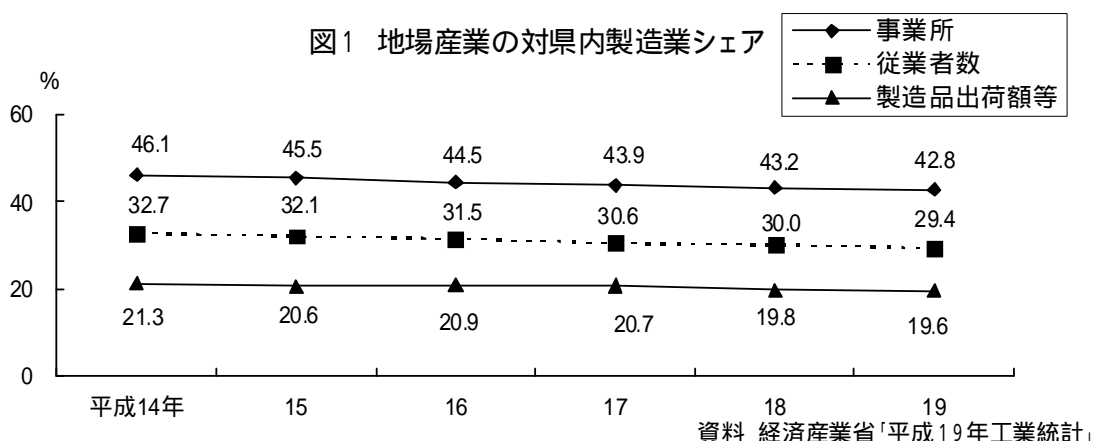
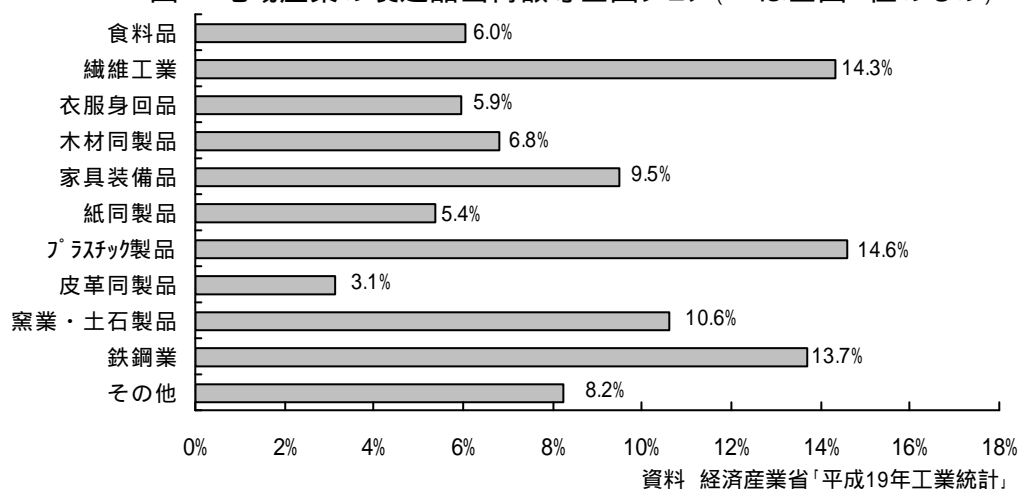


図2 地場産業の製造品出荷額等全国シェア(は全国1位のもの)

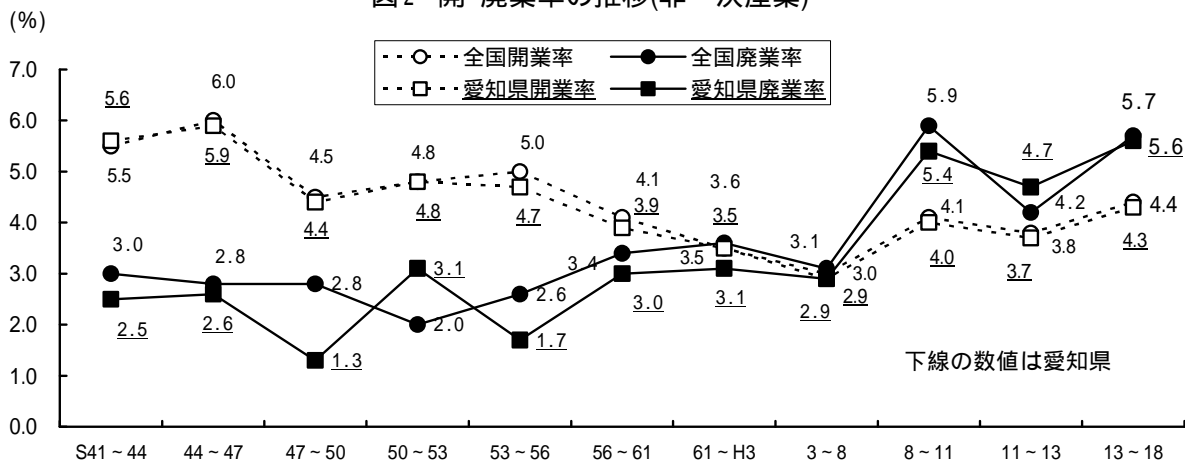


(2) 産業の課題

自動車産業は、素材、部品、加工、エレクトロニクスなど多様な業種からなる裾野の広い組立型の産業であり、それぞれの業種には、優れた技術力やノウハウを有する中小企業が多く存する。

その一方で、自動車メーカーを頂点に系列化しているため、中小企業が保有する技術やノウハウを新たな分野へ活用し、新事業や第二創業などにつなげていくことがあまりできていない状況と思われる。これは、一大集積地である本県の活発な産業活動に比べ、開業率が4.3%と全国平均(4.4%)を下回っている状況(「平成18年事業所・企業統計調査」[総務省])からも見て取ることができる。

図2 開・廃業率の推移(非一次産業)



資料 総務省「事業所・企業存続調査報告」を基に県産業労働部作成

また、本県は、全国第3位の県内総生産額(H18)と31年連続日本一の製造品出荷額等(H19)を誇るが、国際的な知名度の指標とされる訪日外国人の本県への訪問率などが相対的に低い状況にあり、地域の魅力を情報発信していく取り組みが求められている。

このような課題を解決していく上で、地域にある産業資源を再認識、発掘し、他地域にない特徴的かつ集積した産業資源を活用した中小企業者による事業化は、他地域との差別化や付加価値の高い新商品・新製品づくり、役務の提供等の新事業の促進と、地域資源のブランド化による内外への情報発信の促進につながるものと考えられる。

(3) 地域産業資源活用事業を促進する意義

消費者ニーズの多様化、産地間競争の激化や輸入品増加による安価な製品との競合など地場産業を取り巻く環境が厳しい状況から、海外を含めた他地域との差別化を図り、商品や役務の付加価値を高める取り組みが求められる。

本法は、地域に特徴的なものとして認識されている地域産業資源を活用した中小企業者の新たな市場を求めた事業を支援していくことで、地域産業の強化や新たな地域産業の創出につなげていく取り組みであり、地場産業の活性化にとって、その果たす役割を大いに期待するものである。

さらには、本法により地域産業資源を活用した中小企業者の事業を促進することは、当該事業のみならず、当該地域産業資源を共有する他の中小企業者の事業活動及び当該事業と密接に関連する事業活動を促し、地域における知識やノウハウの蓄積、消費者等の認知度の向上等と相まって、当該地域産業資源を核とした地域産業の発展に寄与することが期待される。

(4) 地域産業資源の指定に当たっての基本的な考え方

地域産業資源の指定に当たっては、国が示す「地域産業資源活用事業の促進に関

する基本方針」に則り、「農林水産物」、「鉱工業品又は鉱工業品の生産に係る技術」、「文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源」の3つの資源を、次の考え方により選定し、指定する。

地域にとって特徴があり、優位性の高い地域産業資源を幅広く指定する。

地域の中小企業者による活用の選択肢が広がるように地域産業資源を指定する。

地域から幅広く提案を受けることで、眠っている地域産業資源を掘り起こす。

地域産業資源の指定に当たっては、関係の産業支援機関、団体等からも意見を求めるなど連携を図る。

県が策定した様々な計画の中で示す地域産業資源を指定する

(5) 地域産業資源の活用にあたっての基本的な考え方

地域産業資源を活用した新たな事業に取り組む中小企業者に対しては、本県が策定する「新しい政策の指針・平成19年度版年次レポート あいちの地域づくり白書」(H20.5)、「愛知県産業創造計画」(H17.1)、「食と緑の基本計画」(H17.2)の各計画を踏まえた個別の地域産業資源に対する施策や、金融面、技術面、販路開拓面など中小企業への様々な支援策を積極的に用いた取組みを進めていくこととする。

さらには、財団法人あいち産業振興機構、愛知県商工会議所連合会、愛知県商工会連合会、愛知県中小企業団体中央会、愛知県農業協同組合中央会、愛知県経済農業協同組合連合会、愛知県森林組合連合会、愛知県漁業協同組合連合会、社団法人愛知県観光協会等を構成員とする協議会により、それぞれが関係する地域産業資源を活用した中小企業者の事業活動の状況や中小企業者への支援策のあり方など様々な意見交換と情報の共有化等の連携を図ることで、地域産業資源を活用した事業活動を支援していくこととする。

2. 地域産業資源の内容

当県において、その産業資源を活用した中小企業による事業を促進する意義があると考えられる資源は以下のとおりである。

(1) 農林水産物

名 称	地域産業資源に係る地域
あいち知多牛	半田市
赤シソ	大治町
赤どり	田原市
あさり	田原市、蒲郡市、一色町、幡豆町、吉良町
	美浜町
渥美のメロン	田原市
アナゴ	南知多町
海部れんこん	愛西市、津島市
鮎	豊田市
	一宮市
いちご	愛西市、津島市
	蒲郡市、幸田町、吉良町
	豊川市、豊橋市、新城市
いちじく	安城市、碧南市
	尾張旭市
	常滑市
	吉良町
稲沢の植木	稲沢市
いわし	碧南市
うなぎ	一色町
	豊橋市、田原市
梅	新城市
大葉	豊橋市、豊川市
カーネーション	一色町、吉良町
かき(富有柿、次郎柿)	豊橋市、新城市
春日井サボテン	春日井市
カタクチイワシ	南知多町
海部東米(かぶとまい)	大治町、津島市、七宝町、美和町、甚目寺町
かぼちゃ	清須市
蒲郡みかん	蒲郡市、豊川市
かりもり	大口町
	清須市

絹姫サーモン	設楽町
キャベツ	豊橋市、田原市
きゅうり	安城市、碧南市、刈谷市、西尾市、一色町、吉良町
グリーンアスパラ	豊川市
	豊田市
黒大豆	豊明市
こうなご(小女子)	南知多町
小菊	豊田市
越津ねぎ	江南市、一宮市
	美和町
古代濃尾香り米	犬山市
小松菜	甚目寺町
米	阿久比町
	豊田市、東郷町、日進市、安城市、新城市、長久手町、設楽町
	美浜町
自然薯	犬山市、春日井市
	岡崎市、新城市、豊田市
しらす	田原市
	碧南市
	南知多町
スプレー菊	豊川市
佐布里の梅	知多市、常滑市
そぶえ銀杏	稲沢市
だいこん	江南市、扶桑町
	名古屋市、清須市、愛西市、蟹江町、北名古屋市
	田原市
田原牛	田原市
卵	高浜市
	一宮市
たまねぎ	碧南市
	東海市
茶	新城市、豊橋市、豊川市、田原市、豊田市
天狗なす	設楽町
電照菊	田原市
トマト	豊橋市、田原市、豊川市、新城市、設楽町
豊田の梨	豊田市
豊田の桃	豊田市

豊橋うずら	豊橋市
とらふぐ	南知多町
名古屋コーチン	小牧市、岩倉市、名古屋市、春日井市
なし	大府市
なす	岡崎市
	一宮市
ニギス	蒲郡市、一色町、幡豆町
西尾茶	西尾市、吉良町、安城市
にんじん	愛西市
	碧南市
ねぎ	愛西市、美和町
のり	美浜町、常滑市
	田原市、吉良町、一色町
はくさい	江南市、一宮市
鉢花(観葉植物)	田原市
バラ	豊川市、豊橋市、田原市
	西尾市
パンジー	美和町
ふき	知多市、東海市
	南知多町
筆柿	幸田町
ぶどう	岡崎市
	東浦町、大府市、刈谷市、三好町
プチヴェール	尾張旭市
ブルーベリー	豊根村、設楽町、新城市、豊田市
ブロッコリー	田原市
文鳥	弥富市
ペコロス	知多市
へぼ(クロスズメバチ)	新城市
ほうれんそう	一宮市、稲沢市
方領大根	甚目寺町
法性寺ねぎ	岡崎市
鳳来牛	新城市
鳳来マス	設楽町
三河材	岡崎市、豊田市、安城市、高浜市、碧南市、西尾市、吉良町、新城市、東栄町、設楽町、豊根村
みかわポーク	田原市
みかん	美浜町、南知多町

みつば	名古屋市
宮重大根	春日町
メヒカリ	蒲郡市、幡豆町
桃	小牧市、春日井市
八事五寸にんじん	名古屋市
弥富金魚	弥富市
八名丸里芋	新城市
やまいも	大府市
洋ラン	東海市
	西尾市

(2) 鋳工業品又は鋳工業品の生産に係る技術

名 称	地域産業資源に係る地域
愛知の一般産業用機械	愛知県全域
愛知の金型	愛知県全域
愛知の金属加工機械	愛知県全域
愛知の自動車部品	愛知県全域
愛知のしょうゆ	名古屋市、清須市、東海市、知多市、常滑市、半田市、豊橋市、豊川市、岡崎市、豊田市、刈谷市、安城市、高浜市、碧南市、西尾市、蒲郡市、七宝町、武豊町、美浜町、南知多町、幡豆町、小坂井町
愛知の清酒	名古屋市、一宮市、江南市、清須市、北名古屋市、犬山市、岩倉市、瀬戸市、津島市、稲沢市、愛西市、半田市、常滑市、豊橋市、新城市、豊川市、岡崎市、豊田市、安城市、西尾市、碧南市、蒲郡市、蟹江町、東浦町、阿久比町、美浜町、南知多町、三好町、幡豆町、設楽町、東栄町
愛知の繊維機械	愛知県全域
愛知の建具	愛知県全域
愛知のプラスチック	愛知県全域
愛知の豆みそ(赤みそ)	名古屋市、清須市、東海市、知多市、常滑市、半田市、七宝町、武豊町、美浜町、南知多町
	豊橋市、豊川市、岡崎市、豊田市、刈谷市、安城市、高浜市、碧南市、西尾市、蒲郡市、幡豆町、小坂井町
愛知のみりん	名古屋市、津島市、清須市、稲沢市、蟹江町
	安城市、碧南市、西尾市、半田市、阿久比町
愛知の木製家具	名古屋市、一宮市、春日井市、小牧市、江南市、稲沢市、津島市
	半田市、刈谷市、安城市、知立市、三好町、東浦町
	豊橋市、豊川市
愛知の和菓子	愛知県全域
赤津焼	瀬戸市
有松・鳴海絞	名古屋市
一色のえびせんべい	一色町、西尾市、吉良町、幡豆町、碧南市
稲荷ずし(豊川)	豊川市
いなまんじゅう	蟹江町
鋳物	西尾市、安城市、碧南市、一色町、吉良町、半田市、常滑市、高浜市
	名古屋市、一宮市、稲沢市、東海市、大府市、蟹江町、甚目寺町、弥富市

	蒲郡市、豊川市、豊橋市
	大口町
岡崎石工品	岡崎市
小原和紙	豊田市
尾張七宝	七宝町、名古屋市、愛西市、津島市
蒲郡みかんわいん	蒲郡市
きしめん	名古屋市、春日井市、小牧市、江南市、津島市、稲沢市、愛西市、半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、豊橋市、新城市、岡崎市、豊田市、安城市、刈谷市、高浜市、碧南市、西尾市、蒲郡市、甚目寺町、豊山町、美浜町、阿久比町、武豊町、三好町、吉良町、幡豆町
三州岡崎和蠟燭	岡崎市
三州瓦	碧南市、高浜市、刈谷市、半田市、岡崎市、安城市、西尾市
三州瓦のシャモット	碧南市、高浜市、刈谷市、半田市、岡崎市、安城市、西尾市
しめ縄	岡崎市
食酢	半田市
瀬戸染付焼	瀬戸市、尾張旭市
瀬戸の珪砂	瀬戸市、豊田市
瀬戸の陶土	瀬戸市、豊田市
瀬戸焼	瀬戸市、豊田市、尾張旭市、春日井市、名古屋市
知多木綿	知多市
知多綿スフ織物	半田市、大府市、常滑市、東海市、知多市、阿久比町、東浦町、武豊町
チタン製高度部材	豊橋市、蒲郡市、豊川市、新城市、幸田町
常滑焼	常滑市、半田市、知多市、東海市、大府市、東浦町、阿久比町、武豊町、美浜町、南知多町
飛島村せんべい	飛島村
豊橋ちくわ	豊橋市
豊橋のゼリー	豊橋市
豊橋筆	豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、小坂井町
名古屋桐箆笥	名古屋市、春日井市、清須市
名古屋黒紋付染	名古屋市、北名古屋市
名古屋節句人形	名古屋市
名古屋扇子	名古屋市
名古屋のアパレル	一宮市、扶桑町、江南市、岩倉市、稲沢市、美和町、甚目寺町、大治町、七宝町、津島市、愛西市、蟹江町、清須市、名古屋市、春日井市、尾張旭市、豊明市、北名古屋市、東海市、知多市
名古屋仏壇	名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、常

	滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、北名古屋市、愛西市、弥富市、扶桑町、七宝町、美和町、甚目寺町、蟹江町、東浦町、武豊町
	知立市、安城市、西尾市、岡崎市
名古屋友禅	名古屋市、北名古屋市、春日井市
西尾茶(製茶)	西尾市、吉良町、安城市
八丁味噌 (岡崎城の西八丁にある岡崎市八帖町で伝統的な製法により醸造される豆味噌)	岡崎市
尾州インテリア織物	江南市、小牧市、一宮市、大口町、扶桑町
尾州の毛糸	一宮市、扶桑町、江南市、稲沢市、愛西市、美和町、甚目寺町、七宝町、津島市、弥富市、名古屋市
尾州の毛織物	一宮市、稲沢市、津島市、愛西市、弥富市、蟹江町、七宝町、江南市、岩倉市、名古屋市
福来蜜	一宮市
招き猫	瀬戸市
	常滑市
三河つくだ煮	豊橋市、豊川市
三河の光学機器	豊橋市、岡崎市、豊川市、蒲郡市、幸田町
三河の反毛、和紡績糸	岡崎市、豊田市、安城市、西尾市、幸田町、一色町、幡豆町、吉良町
三河の綿スフ織物	蒲郡市、豊川市、西尾市、安城市、碧南市、高浜市、知立市、刈谷市、一色町、吉良町、幡豆町、幸田町
三河のロープ・網	豊橋市、豊川市、新城市、小坂井町、蒲郡市、幡豆町、一色町、吉良町、幸田町、岡崎市
三河花火	岡崎市、安城市、豊田市、豊川市、豊橋市、蒲郡市、刈谷市、西尾市、幸田町
三河仏壇	豊橋市、岡崎市、半田市、豊川市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、常滑市、新城市、東海市、大府市、知立市、高浜市、豊明市、田原市、東浦町、武豊町、一色町、幸田町、三好町
三河木綿	岡崎市、蒲郡市、豊川市、西尾市
美浜の塩	美浜町、常滑市
吉浜細工人形	高浜市

(3)文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源

名 称	地域産業資源に係る地域
愛岐トンネル群	春日井市
あいち健康の森公園	大府市、東浦町
愛・地球博記念公園（モリコロパーク）	長久手町
赤羽根海岸のロングビーチ	田原市
旭高原	豊田市
あじさいの里	蒲郡市
足助の古い町並み	豊田市
足助八幡宮	豊田市
預り淵、煮え淵のポットホール	東栄町
阿寺の七滝	新城市
有松地区の町並み	名古屋市
安城七夕まつり	安城市
一宮モーニング博覧会	一宮市
いなぶ温泉	豊田市
犬山城・犬山城下地区	犬山市
犬山祭	犬山市
伊良湖岬	田原市
岩崎の清流亭の藤	小牧市
ウエルネスバレー（あいち健康の森周辺）	大府市、東浦町
内々神社庭園	春日井市
宇都宮神社古墳	小牧市
内海海水浴場	南知多町
鶺鴒の山鶺鴒繁殖地	美浜町
エリカカップヨットレース	蒲郡市
大山廃寺跡	小牧市
大脇の梯子獅子	豊明市
岡崎ゲンジボタル発生地	岡崎市
岡崎城	岡崎市
奥矢作湖	豊田市
桶狭間古戦場伝説地	豊明市、名古屋市
小渡温泉	豊田市
小野道風誕生伝説地	春日井市
おりもの感謝祭（一宮七夕まつり）	一宮市
尾張温泉	蟹江町
尾張津島天王祭の車楽舟行事	津島市、愛西市
形原温泉	蒲郡市
蒲郡温泉	蒲郡市

蒲郡地区マリーナ(海陽、三谷、蒲郡、西浦)	蒲郡市
蒲郡手筒花火まつり	蒲郡市
蒲郡まつり	蒲郡市
亀崎潮干祭の山車(半田の山車)	半田市
観音寺(荒子)多宝塔	名古屋市
木曾川うかい	犬山市
絹本著色聖宝像(林昌院)	春日井市
旧糟谷邸	吉良町
清洲城	清須市
吉良温泉	吉良町
きららの森	設楽町
吉良ワイキキビーチ	吉良町
熊野神社の五枚岩	小牧市
くらがり溪谷	岡崎市
華蔵寺	吉良町
黒笹七号窯	東郷町
航空館 boon	豊山町
興正寺五重塔	名古屋市
香嵐溪	豊田市
五条川の桜並木	大口町、岩倉市、江南市
小牧山(小牧城)	小牧市
御油の松並木	豊川市
金蓮寺	吉良町
財賀寺	豊川市
佐久島	一色町
桜淵公園	新城市
笹戸温泉	豊田市
三ヶ根山	幡豆町、蒲郡市、幸田町
参候祭	設楽町
三明寺	豊川市
四季桜	豊田市
設楽のしかうち行事	東栄町、新城市
下粟代のイチイ	東栄町
甚目寺観音	甚目寺町
新城総合公園	新城市
新舞子ブルーサンビーチ	知多市
瑞龍寺のシダレザクラ	豊田市
須佐之男神社のアヤスギ	東栄町
須成祭	蟹江町
船頭平閘門	愛西市

佐布里池の梅林	知多市
そぶえイチョウ黄葉まつり	稲沢市
鯛まつり	南知多町
滝山寺(滝山東照宮と滝山寺鬼祭)	岡崎市
竹島	蒲郡市
乳岩及び乳岩峡	新城市
茶臼山高原	豊根村
知立神社多宝塔	知立市
知立山車文楽	知立市
チェンソーアート競技大会	東栄町
津島神社	津島市
東栄町のさいの神	東栄町
東海道藤川宿	岡崎市
鳥羽の火祭り	幡豆町
富部神社本殿	名古屋市
豊川稲荷	豊川市
豊橋発祥のええじゃないか	豊橋市
長岡の産小屋	東栄町
長久手温泉	長久手町
長久手古戦場	長久手町
名古屋城	名古屋市
夏焼温泉	豊田市
新美南吉童話のゆかりの地(新美南吉記念館、南吉生家、南吉養家、矢勝川堤の彼岸花)	半田市
西浦温泉	蒲郡市
野間大坊(大御堂寺)	美浜町
はだか祭り(国府宮の儼追祭)	稲沢市
八丁味噌蔵(八丁蔵通り)	岡崎市
花祭	東栄町、設楽町、豊根村
半田運河・蔵の街	半田市
半田赤レンガ建物(旧カプトビール工場)	半田市
東三河ふるさと公園	豊川市
福寿稲荷ごりやく市	蒲郡市
二子山古墳	春日井市
平洲記念館	東海市
平勝寺(綾渡の夜念仏、盆踊)	豊田市
鳳来寺山	新城市
本宮山	豊川市

真清田神社	一宮市
松平氏遺跡	豊田市
曼陀羅寺公園の藤	江南市
三河一色大提灯まつり	一色町
三河大島	蒲郡市
三河大島いかだレース大会	蒲郡市
三河湖	豊田市
三河国分寺跡	豊川市
三河国分尼寺跡	豊川市
三河の田楽 (田峯田楽、鳳来寺田楽、黒沢田楽)	新城市、設楽町
三河の手筒花火	豊橋市、豊川市、小坂井町
三河万歳	安城市、西尾市、幸田町
密蔵院(多宝塔、木造薬師如来立像)	春日井市
南設楽のほうか	新城市
南知多温泉郷	南知多町
三谷温泉	蒲郡市
宮路山	豊川市
三谷祭	蒲郡市
妙興寺	一宮市
明神山と振草溪谷	東栄町
面ノ木園地	設楽町
やきもの散歩道(登窯)	常滑市
祐福寺	東郷町
湯谷温泉	新城市
竜泉寺仁王門	名古屋市
リニモ(東部丘陵線)	名古屋市、長久手町、豊田市
和紙のふるさと	豊田市

3. 地域産業資源を用いて行う地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域産業資源に係る地域の経済の活性化を推進する方策

(1) 個別地域産業資源に関する施策

ア 新しい政策の指針・平成19年度版年次レポート あいちの地域づくり白書(H20.5作成)

【抜粋】

産業技術の世界的中枢性の強化と成熟社会を担う産業展開

地域資源の活用

本県に厚く集積する産地の技術や農林水産物、観光資源などがあり、各地域の特色ある地域資源は、商品・サービスの差別化・高付加価値化のための有効な要素となり得ることから、これらの地域の「強み」を生かして中小企業の活性化を図る。

本県にも地域間・産業間格差があり、その是正に向けて、構造的な問題を抱える地場産業系の中小企業や産業の集積が弱い地域の中小企業を対象として地域中小企業応援ファンドを創設する。

イ 愛知県産業創造計画(H17.1策定)

【抜粋】

(ア) 競争力ある戦略的な産業展開

ブランド戦略の推進

- ・ 今後のモノづくりにおいて重要な「コア・コンピタンス(独自の強み)」、「最高の品質」、「顧客第一主義」、「最善の環境配慮」を兼ね備えた企業を「愛知ブランド認定企業」として認定するとともに、知名度向上を図るため、海外も含め広くアピールを行う。
- ・ 地場産業、伝統工芸品産業におけるブランドづくり、ブランド力の強化、情報発信などの取組みを促進する。

(イ) 中小企業支援機能の充実

新産業労働センター(H24.10、全面供用予定)に中小企業支援のための経営支援などサービス機能の集積化を図るとともに、技術支援機能を新たに付加することにより、経営・技術両面にわたる総合的な支援機能の充実を図る。

中小企業支援機能を強化するために、高度な専門知識や経営ノウハウなどを持つ外部人材の活用によるサービスの向上など支援体制の強化を図る。

(ウ) 新事業展開への支援の強化

経営力強化への支援

- ・ 経営革新の承認を受けた事業計画の実施企業に対する支援措置の拡充を図る。
- ・ 優れたビジネスプランに対する評価制度を充実するとともに、高い評価を受けたプランに対する支援措置の充実を図る。

新製品・新技術の開発に係る支援

- ・ 新製品・新技術の開発に取り組む中小企業の研究開発に対し補助を行う。
- ・ 県産業技術研究所において、産業界のニーズにあった研究開発テーマを設定するなど共同研究事業の一層の充実を図る。

企業連携の推進

- ・ 中小企業の高付加価値化や新事業展開を支援するため、専門知識や高度な技術など個々の企業の特徴を活かした企業連携によるビジネスを支援する。

地域産業活性化のための支援

- ・ 地場産業におけるブランド力の強化や情報発信、同業種の他地域との連携や他業種との連携による新商品開発や販路開拓に向けた取組みを積極的に支援するため、国が行う「JAPAN ブランド育成支援事業」や(財)一宮地場産業ファッションデザインセンターなどが実施する各種事業と連携した取組みを行う。
- ・ 付加価値の高い商品や市場ニーズに対応した商品の開発や新技術開発、販路開拓など産地組合などが実施する事業を支援する。
- ・ 県の窯業、繊維、食品の各技術センターにおいて、地域ニーズにあった技術開発を行う。
- ・ 伝統的工芸品産業の振興を図るため、伝統的工芸品の普及に努めるとともに、展示会開催などの需要拡大に向けた取組みに対する支援を行う。

ウ 愛知県平成20年度中小企業支援計画(H20.6策定)

【抜粋】

本県の高度で幅広い産業集積という強みを活かしながら、国際競争力のある「モノづくり」産業の集積地としてさらに発展していくため、ベンチャー企業の育成、新産業の創出と創業の拡大、産業技術の振興などにより、新しい産業の創造をめざす。

また、中小企業の活力の向上をめざして、経営改善の支援や組織化・連携を促進し、経営基盤の強化を図る。

県や市町村との適切な役割分担の下、財団法人あいち産業振興機構（県中小企業支援センター）を活用して、商工会・商工会議所等の中小企業支援機関と密接に連携し、地域の実情に応じた特色ある事業の実施に努める。

財団法人あいち産業振興機構は、本県における中小企業支援のワンストップサービス機関として、創業や経営革新・新事業展開をめざす中小企業者等に対して各種支援策をきめ細かく実施する。

「新産業の創出・創業の拡大」、「産業技術の振興」、「知的財産集積の推進」、「中小企業の経営力の強化」、「商店街・中心市街地の活性化」を5本柱に中小企業への支援を実施する。

エ あいち知的財産創造プラン(改訂版) (H20.2策定)

知的財産とそれを生み出す技術・技能を大切にする風土が広がり、「ものづくり」と「知恵づくり」が集積することにより、知的財産を活かした新規事業やベンチャー企業の創出が進む元気でたくましい地域づくりをめざして、「知的財産を大切にする風土づくり・基盤づくり」、「知的財産を活用したたくましい中小企業づくり」、「産・学・行政連携による知的財産の創出」をプラン実現に向けた3つの基本方策として掲げている。

【抜粋】

県の主な取組み

知的財産を大切にする風土づくりを進めるため、「愛知の発明の日」を活用して知的財産を大切にする意識の普及への取組み。

産学行政の連携による知的財産に関し有能な人材をネットワーク化する「あいち知的財産人材サポーター」を活用した中小企業の知的財産活動の支援。

中小企業の海外での権利保護に対する支援の強化として、海外出願に対する経済的支援を意匠、商標に拡大。

地域資源のブランド化の推進など知的財産として地域資源の創造・活用の推進

オ 愛知観光チャレンジプラン(H19.3策定)

【抜粋】

地域の伝統文化を始めとする地域の魅力の再発見や観光客の受入体制の整備など地域住民による自発的な観光まちづくりによる集客力のある交流拠点形成を促進し、県全体の観光振興につなげていくため、「地域の魅力の向上と交流の拡大」をめざす。

基本的視点1：観光ブランドの創造と発信

《行動目標1》 産業観光の推進

- ・行動メニュー1：施設の情報発信
- ・行動メニュー2：施設の受入体制の充実(体験プログラムや土産品の開発)

《行動目標2》 武将観光の推進

- ・行動メニュー1：武将ゆかりの観光資源の発掘・磨き上げ
- ・行動メニュー2：観光資源のネットワーク化とプロモーションの強化

《行動目標3》 地域ブランドの創出

- ・行動メニュー：地域ブランドの構築と情報発信

基本的視点2：観光地域の魅力の向上と推進体制の形成

《行動目標4》 観光資源の発掘と磨き上げ

- ・行動メニュー1：全庁的な推進体制の整備による観光施策の推進
- ・行動メニュー2：農林漁業、自然等を活かした都市と農山漁村の交流の推進
- ・行動メニュー3：魅力あるテーマルートづくりの推進
- ・行動メニュー4：ロケ地観光

《行動目標5》 地域における観光まちづくりの促進と推進体制の形成

- ・行動メニュー1：観光まちづくりの促進

カ モノづくり人材育成愛知モデル(H18.2策定)

本県のモノづくり産業を支える人材を育成するため、「愛知版マイスター制度」を創設し、モノづくりのすばらしさを県民に広く伝えることで技能尊重気運の醸成を図るとともに、各年代層に向けた体験的・実践的な教育プログラムを戦略的に展開するなど、「モノづくり人材育成愛知モデル」の推進を図る。

【抜粋】

技能者の活用

愛知版マイスター制度の創設

若者や子どもの目標や憧れの対象となるような優れた技能や情報発信力を有する技能者等を知事が「あいち技能マイスター」と認定し、様々な場面で、技能振興のシンボルとして活躍していただく、愛知版マイスター制度を創設する。

あいちの匠の活用

あいち技能マイスターとOB人材バンクに登録している高度な技能を持った企業OB熟練技能士を、工業高校での技能指導などで活用する。

次代を支える人材育成の推進

愛知特有のモノづくり資源を活かし、小学生から大学生、社会人まで、各年代層に向けた体験的・実践的な教育プログラムを産・学・行政の連携により戦略的に展開し、中小企業の人材確保を促進するとともに、愛知の産業を担う創造力あふれる人材の育成を図る。

キ 食と緑の基本計画(H17.2策定)

県内産の農林水産物等の消費と利用拡大を図るため、高品質で特色ある農林水産物の生産をさらに進め、ブランド力を高める。

また、農林水産業の維持や活性化のため、農林水産物などを活かした都市との交流、特産品・加工品の開発などを通じて多様な就業機会の創出を図る。

【抜粋】

ブランド化の推進

生産者等が行う農林水産物の産地化及び農産物の即売会等を利用した消費者等へのPR活動を支援し、愛知産農林水産物のブランド化を推進する。

都市と農山漁村との交流促進

農山漁村の自然、風景、人、食、文化などと豊かな農林水産物を加工する「ものづくり」を一体的に捉えこれらを体験・体感する「観光」を通して、都市と農山漁村の交流を推進する。

特産品・加工品の開発促進

地域における特産品・加工品づくりのために、生産・加工技術の確立や調査などを行い、開発を促進する。

三河材の認証制度の推進

NPO等と行政が一体となって、三河材の認証制度の取組みを進め、消費者に三河材であることが分かるように供給して、森林づくり・木づかいを促進する。

(2) 関連する施策

本県においては、中小企業による地域産業資源を活用した事業を促進し、地域経済の活性化を図るため、以下の中小企業支援施策を実施する。

金融面での支援

制度融資の活用による中小企業の資金調達の円滑化や、無担保・第三者保証人不要の融資制度の活用などにより金融面での支援に努める。

また、設備資金を無利子で貸し付ける制度や設備を低利で割賦販売・リースをする制度により、小規模企業者等の経営基盤の強化に必要な設備の導入を促進する。

経営指導の強化

愛知県中小企業支援センターに指定する財団法人あいち産業振興機構において、実務経験豊かな経営・金融、技術、ITのプロを配置し、経営、法律等に関する窓口相談を設け、各種相談、助言を行う。さらには商工会、商工会議所、商工会連合会に配置した経営指導員を活用して経営上の各種相談・助言を行う。

また、民間の専門家を派遣し、診断・助言を行う。

中小企業者に対して、知的財産や技術動向の調査・解析等を行う知的財産専門家を派遣することにより、知的財産の創造、戦略的活用等を促進する。

創業、新事業展開の促進

新産業創出の担い手として期待されるITベンチャー企業の育成、支援等を総合的に展開するインキュベーション施設「あいちベンチャーハウス」を運営する。

知的財産に関する相談を受け付ける特許総合相談窓口を設置するとともに、知的財産や技術開発について現場に出向いて支援を行う知的財産人材サポーター事業を実施し、知的財産を活用して事業化を進める中小企業を支援する。

財団法人あいち産業振興機構では、中小企業が競争力を強め成長を続けていくためには、市場の変化をいち早くつかみ、それに適合した新商品の開発や新サービスを提供することが重要であることから、優れたビジネスプランを有する企業や経営革新計画の実現に取り組む企業に対して、ビジネスマッチングの場を提供して、企業連携による事業化を促す支援や、マーケティングから販路開拓まで事業化に向けた一貫した支援を行う。

また、ベンチャー企業の育成に向けて、意欲のある起業家予備軍の創業を促すため、「創業プラザあいち」において、創業準備のための場所や各種情報の提供、創業等に関する専門的知識を有する民間出身の新事業コーディネーターによる創業に向けたアドバイスなどのソフト面での支援を行う。

企業連携の推進

産学行政連携による研究プロジェクトへの中小企業の参画を促し、専門知識や高度な技術など個々の企業の特徴を活かした企業連携型ビジネスを展開し、商品・サービスの高付加価値化や新事業展開に向けた取組みに支援する。

財団法人あいち産業振興機構において、中小企業同士の互いの強みを有効に組み合わせ新たな事業展開を推進するため、中小企業の経営者、後継者、管理者等に

よる異業種交流の場を通じて、技術・ノウハウ・関連情報・人材資源等の発掘や新たなビジネスチャンスを広げるセミナーを開催する。また、中小企業の受注機会の拡大を図るため、下請け取引の紹介やあっせんも行う。

県が出えんしている財団法人科学技術交流財団において、産学行政連携の一環として、企業相互の新たな出会いの場を創出し、中小企業間の連携の強化を目指す。

技術・研究支援

特許を活用した中小企業による研究開発や、健康長寿、環境・エネルギー、ITなどの産業分野の新技术・新製品開発に対する研究開発を支援する。

愛知県産業技術研究所では、技術相談・指導、依頼試験や研究開発などを通じて、地域中小企業の技術ニーズに対応した新製品・新技术の開発や製品の高付加価値化など、競争力強化をめざすモノづくり企業を技術面から支援する。

また、製品又は製造工程等に関する技術的諸問題を抱える中小企業を対象とした各業種の技術分野に精通した専門家の派遣や、講習会の開催等の技術支援を実施し、中小企業の技術力の向上を図る。

財団法人科学技術交流財団では、企業の研究ニーズが発端となった技術を具体化するため、中堅、中小企業を組織化した研究共同体が行う実用化試験を支援している。

中小企業のIT利活用の推進(情報化支援)

財団法人あいち産業振興機構において、ホームページ電子商取引市場を活用した中小企業の販路拡大を支援する。また、IT導入による中小企業の経営改善を図る。

人材育成

県立の高等技術専門校を活用して、企業ニーズに沿ったカリキュラムを編成する等の教育システムの改革を図ることにより、地場産業を支える優秀な人材の育成・確保を進める。

地域産業の活力向上

消費者ニーズの多様化、産地間競争の激化や輸入品の増加などにより地域産業を取り巻く環境が厳しい状況にあることから、地域資源を活用した新商品開発、販路開拓などの新たな事業展開を支援するなど、地域産業の活力向上を図る。また、全国や海外で通用するブランド化の確立をめざすとともに、産地を牽引する有力企業群の形成支援を図る。

支援機関の機能強化

財団法人あいち産業振興機構については、地域の実情に応じた特色ある事業を実施するため、商工会・商工会議所等の中小企業支援機関と密接な連携を図るとともに、総合的支援体制を充実し、様々な支援策を一元的に管理するための体制整備を進める。

愛知県産業技術研究所では、自動車を始めとする本県の基幹産業に加え、窯業、食品、繊維の地場産業に対する支援体制も整備しており、地域企業のニーズに基づく共同開発等を通じて、企業の事業化を支援していく。